



「三井寺散策と大津市歴史博物館巡り」活動記録

Bグループ 記録；西村

朝方はとても寒くて心配しましたが、昼近くには日差しも現れて暖かい例会になりました。今回は琵琶湖南西の長等山中腹の広大な敷地に、天台宗の総本山として1300年の歴史を持ち、膨大な国宝や重要文化財を有する三井寺を、のんびりと散策することができました。

・日時 2026年3月5日（木） ・参加人数 24名

・行程 10：00 JR 大津駅出発

・犬塚の櫓

・大津絵のお店（暖簾が店内にあるのは、暖簾の後ろの絵を見てもらいたいからとのこと。

・琵琶湖疎水（1885年着工、1890年第1疎水完成）大津市から京都にひかれた約20キロの人口運河。

10：45 三井寺到着

・仁王門（1452年建立）1601年 徳川家康より甲賀から 移築、寄進される

・釈迦堂（室町時代の建築）

・光浄院客殿（国宝 1601年建立）日本の住宅建築の源流となった書院造りの代表的遺構ですが、拝観料800円のため素通り。

・金堂（国宝 1599年、北政所によって再興）当時の総本堂。公開されたことのない絶対 秘仏のご本尊がまつられている。

・三井の晩鐘（1602年再建）日本三銘鐘に数えられる。1つき800円

・あかい屋（覆屋は1600年建立）天智、天武、持統の三天皇が産湯に用いられたという泉が沸く。覆屋の上部には左甚五郎の龍の彫刻がある。

・ひきすり鐘（奈良時代の作）山寺両門の争いから、弁慶が三井寺から奪って比叡山へと引き ずり上げたが、鐘が帰りたいというので山から放り投げたと伝えられている。

・孔雀舎 雄1匹雌2匹の美しそうな孔雀が鎮座していたが、なぜか12時になっても羽を広げることがなかった。

・大師堂（1598年再建）智証大師（円珍）の廟所

・三重の塔（1601年徳川家康により寄進）⇒ 微妙寺（本尊十一面観音は平安初期）

・観音堂（1621年再建）本堂は33年ごとに開扉される秘仏。琵琶湖を眺望する境内に講堂が並ぶ。ここで昼食。

13：00 三井寺出発

13：20 大津市歴史博物館見学

大津市は恵まれた自然と豊かな歴史と文化をはぐくんできた土地であることを知ることができた。大津絵や紫式部の源氏物語の写本や、近江八景の浮世絵の展示など心惹かれた。

14：20 大津市博物館前 解散

案内；池田（孝）、写真；大石



犬塚の樺



大津絵のお店



琵琶湖疎水



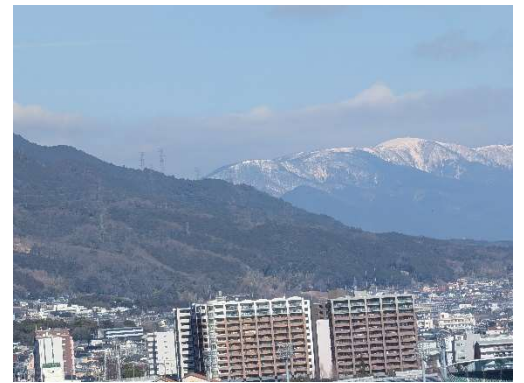
仁王門



三重の塔



孔雀さま



比良山系

大津市歴史博物館

